

## 11月22日（金）生徒感想

### 会社について

- ・社員さん同士の協力がすばらしい。
- ・将来子どもを産んで働くところがなくとも安心できると思った。
- ・子育てしながら働く会社で良いなと思った。
- ・女性で働き続けるには、周りの環境が大切だと分かった。
- ・子育て中でもイキイキと働くことができるのはすごい
- ・谷渕社長が、社員の人たちを大切にしているのが分かった。
- ・女性にしか分からない悩みだからこそ、みんなで助け合い、一生懸命に働くことができるのだと思った。
- ・休みやすい環境をつくるなど、自分自身の為に自分で仕事形態を創っていくことが大事ということが伝わった。
- ・誰でもどの机でも仕事ができるのはすごい。（それを表す整理整頓）
- ・整頓の仕方が同じで誰でも仕事を引き継げるのはすごい
- ・定期的な点検を自動的に行っているところがなるほどと思った。
- ・パワーネットという会社に入ってみたいと思った。

### 働くことについて

- ・働くことがある程度分かった。
- ・仕事はいろんなひとが支え合って成り立っているのだと思った。（協力することが大切）
- ・長く続けられて、働きやすい会社が良いと思った。これを機会に働くということをもっと知って、良い会社に勤められたらいいなと思った。
- ・女性が働くためには、その場の環境や周りの多くの人の理解が必要だからこそ、パワーネットの魅力が良く分かった。
- ・働き方改革や女性が働き続けるためにはと言われている時代だが、実際会社ではどういった取り組みをしているのか、大企業だけの話なのかと思ってきた。今回この授業を受けて、自分たちの働く環境を良くするためには、まずは自分の働く意識を変えるだけで、もっと働きやすい環境に変えることができるのだと思った。
- ・自分のためにしていることが他人のため、会社のためになることもあることが分かった。
- ・自分の能力を発揮したい。
- ・誰かのために働くのだと思った。
- ・今から自分に与えられた力、価値は何なのかを見つけ、職場を決めるときに役立てたい。
- ・将来働く先で、得るもの1つひとつの価値を大切にしていきたい。
- ・自分が所属している場所で、自分の価値を見つけて頑張りたいと思った。
- ・おかれた場所で咲きなさいという言葉の意味が改めて分かった。
- ・自分の能力や技術を伸ばし働いていくことは、自分自身の成長や向上につながっていくと

思った。

- ・自分の意欲ももちろん大事だけれど、大人になった時に、誰かのため、社会のために働くようになりたい。
- ・働くとは、人の役に立つことや相手に自分を認めてもらうこと、長所を生かして社会を支えていくことだと分かった。(人は姿勢や態度で周りの人に影響を与える。)
- ・自分も会社に求められる人になるために、精一杯努力していかなければならないと思った。
- ・自分の将来を決めるのが楽しみになってきた。

### その他

- ・今回の授業は、将来自分がこんな立場だったらと考えながら参加することができた。
- ・友人の意見を聞いて、はっとしたり、なるほどと思ったりするところたくさんあった。(共感できた)
- ・自分の意見を考える時間があり、たくさん考えて出したけれど、皆との意見を発表し合うことで、自分が見つけられなかった答えを見つけることができた。
- ・自分の意見をきちんと伝えることの大変さが分かった。やらされているではなく、自らするということが今日の授業はできたのではないかと思う。
- ・授業がとても楽しかった。自分の意見を人に伝えることで誰かのためになったり、人の意見を聞くことで自分の考え方の幅が広がったり、引き出しが増えた気がした。
- ・今回の授業で、これから自分がどういう大人になりたいかや、良い人財になるためにどうすればよいかなどしっかりと考えながら行動できるよう生活していくたいと思った。周囲も自分も成長できるように工夫や努力する姿勢や考え方はとても大切だなと思えた。
- ・目標に向かって今何ができるか考えたい
- ・今後、自分のために、周りのためになる行動をしようと思った。
- ・女性が働くためにも、将来は子育てなど家のことを手伝える人になりたいと思う。
- ・自分が必要とされる人財になれるよう、視野を広げ、目標を高く持ちたい。

### 教員の感想

生徒の取り組み状況や感想から、将来働くことに対する気持ちに何か変化があったのではと思いました。普段のように座学で自分の意見を講義するのではなく、具体的な企業の取り組みや、経営するにあたっての思いなどを講演していただいたことで生徒が感じることが多かったのではないかと思います。社会に人材を送り出す高等学校の取り組みとして、今後も生徒が就労する地域の企業やさまざまな組織と連携し、社会で生きていける人材を育てていく必要があると感じました。また、生徒を育てるために、私たち専門職としての教員が、多くの知識をつけたり、経験を積むことで価値観を広げたりし、生徒たちにとって魅力ある人材にならなければと改めて感じました。

この度は、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

# 株式会社パワーネット



## 【授業目的】

働き方が多様化する現在の社会で、  
社会に求められる人財について考える。  
～ 将来自目指す“人財”になるために～

# 株式会社 パワーネット

「派遣法の改正で、もう会社は継続できないと諦めかけていたとき、『やりましょう！ 私たち女性が、女性を派遣して、働く環境を作りましょう！』と力強く社員が言ってくれた。そんな社員の後押しで、なんとしても会社を続けようと決心できた。それからは、女性が働き続けることのできる企業を目指してみんなで工夫して働いている。」と、自身の企業や社員への想いを株式会社パワーネットの谷渕陽子社長は語られた。

## 【起業の経緯】

株式会社パワーネット（以下パワーネット）は香川県丸亀市に本社を構えた、21周年を迎える企業である。パワーネットは、谷渕社長が公務員や大学講師を経てパソコン関連のビジネススクールを設立したことであまれた。情報化の波が前職場にも押し寄せ、初めてパソコンを触った時に、「これだ」という直感で起業を決意。その後、ソフトの扱い方などを中心に教えていたが、ある日、スクールに来る人の目的が就職のためだと気づいた。そして2001年、仕事を求める人たちに働く場所を提供したいという思いで人材事業（派遣事業）を開始。当初の派遣は、製造派遣を含む男性の派遣などもあり、広い範囲で派遣事業を行っていた。（現在はほぼ女性が中心。それも子育て中の方がほとんどである。）

## 【仕事形態】

パワーネットの従業員は社長を含め全員女性。ほとんどが育児を行うお母さんである。そのため、午後から勤務が難しくなったり急に帰らなければならなくなったりと働くお母さんは忙しい。しかしそのような環境でも「あとはよろしくお願いします。」「いいよ、任せて！」と嫌な顔一つしない社員。通常の業務が何事もなかったかのように続く。

仕事は徹底的にマニュアル化しており、毎日帰宅前にはマニュアルを見返し、その日変更になった個所などを細かく訂正する。このマニュアルがある限り、誰でも同じ仕事を確実に行うことができる。また、整理整頓にも社員が自主的に取り組み、何をどの引き出しの

どこに入れるか、全員配置まで揃っている。

5Sを心掛け「必要なものは10秒以内に取り出せるように。」と無駄な時間を細部まで省く工夫をし、タイムマネジメントが社員の中に意識づけられている。また業務は常に2人で担当。フルタイム社員と時短勤務の派遣社員がチームを組んで行う。こうすることで、どちらかに急用ができても慌てることなく、決められた場所に配置された資料を用いて、マニュアルに沿って業務を進めていけばいいのである。



写真① 引出の中（文房具類の位置）

※5S・・・整理（Seiri）・整頓（Seiton）・清掃（Seisou）・清潔（Seiketsu）・躰（Situke）

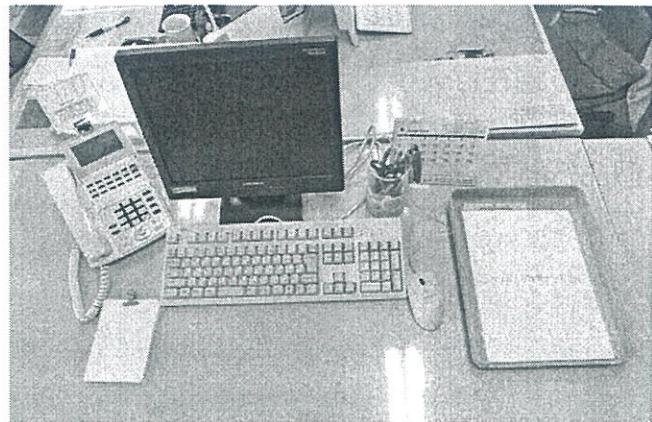
※タイムマネジメント・・・やるべき目標を達成するために時間を有効活用（効率化）するためのビジネススキル。

### 【転機となった女性との出会い】

パワーネットの雇用形態は、設立当初はフルタイム勤務ができる正社員だけを雇い、パート社員採用はゼロであった。また、自社で仕事を斡旋した派遣社員に連絡を入れてサポートなども行っていたため夜も残業が当たり前であった。2008年、リーマンショックによる世界的な経済不況のあおりを受け、日本でも派遣社員の雇用解消が相次ぎ、派遣会社はどこも存続の危機に陥っていた。

さらに政府の出した派遣法の改正による更新費用は莫大で、「もうだめだ。会社をやめるしかない...」となかば諦めかけていた時期があった。

しかし2009年の同時期に谷渕社長に転機が訪れた。Aさんとの出会いである。Aさんは障がいのあるお子さんを支えるシングルマザーで、「生活を立てるために、私が働かなければいけない」とパワーネットに仕事を探しにきたのだ。谷渕社長はこの時の気持ちをこう話す。「改めて事業の意味を考えさせられ、私がAさんを雇わないといけない使命を感じたんです。」Aさんを雇うことで、危機的な状況にある自社に、何か変化が訪れるのではという予感のもと、自社で初めてAさんをパート社員として採用することにした。また、それを間近で見ていた他の社員たちからの「会社、続けましょう！私たちが女性を派遣しましょう！」という心強い後押しを受け、谷渕社長は自社の社員のため、社会の女性たちのために派遣会社を継続することを決めた。



写真② 整理整頓された机

### 【社会で求められていること】

パート社員として雇われたAさんには15時30分退社という時間的な制約があった。しかし、Aさんの仕事ぶりは目を見張るものだった。企画も得意で効率よく仕事をこなす生産性の高い働き方に、谷渕社長は驚き、ふと気づいた。それが、“社員も、家庭がある中で子育てをしながら働いてくれている”ということだ。これまでフルタイム勤務の従業員たちみんなが同じ条件で働いてくれていたが、気づけば社員のほとんどが子育て中のお母さんだった。「社員を大事にしたいと私の心が変わった時、経営が変わりました」と話す。社員に寄り添うようになった社長は、みんなで社内の働き方を改善する中で、日頃の家事で鍛えた女性ならではの段取り力、整理整頓力、事務処理能力の高さにも気づかされた。自社の経営の改善に取り組んだことで、事業にも変化がおきた。女性限定の派遣事業に取り組み、即戦力として働くよう事務研修をしてから派遣するというシステムを構築し、派遣会社である自社からクライアント企業へ派遣業務の提案営業もできるようになった。

現在派遣先企業は50社程度。求職登録者は月単位100名前後である（派遣や紹介を含めての数値）。派遣社員を求める企業は、産休・育休代替や、退職者補充や繁忙期の人

員の穴埋めなどで派遣要請を行う。人材として個人の技術や能力を求めることがある。しかし、現在は人手不足であることも影響し、未経験でも意欲的な人材を求めていっているといふ。谷渕社長の考え方と同じように、フルタイムでなくても会社のためにできることを一生懸命行って働くとする素直な人材を、多くの企業は育成しようという気持ちで迎え入れている。



写真③ 会社風景



写真④ ランチ会の様子

### 【今後の展望】

派遣会社の中には、自社の売り上げを考えると派遣社員としての勤務を継続させることが良いという考え方の会社もある。しかし谷渕社長は、「派遣という入口から入り、いずれ正社員になるという願いをかなえるのが派遣会社であると私は思います。」こう派遣会社に対する定義を述べる。

また谷渕社長は今後も社会で求められる「良い人財」について、「わが社が考える『良い人財』とは、ズバリ『成長意欲の高い人財』です。素直さ、柔軟性の高さ、努力する姿勢が備わった意欲の高い人財は、育てることで、将来必ずや『良い人財』となってくれます。」とおっしゃった。クライアント企業への人材紹介の際にもこの「良い人財」を紹介できるよう何度も面会などを行う。

そんな谷渕社長は、パワーネットの今後について、「高齢者や障がい者、短い時間でも働きたいと思っている方々も視野に入れた事業の展開がしたい。地域に役立つことならなんでもやっていきたいですね。」と笑顔で語る。そんな社長の背景には、自分の能力を最大限に発揮してイキイキと働くたくさんの女性の姿が見えた。



写真⑤ 20周年記念の写真

## 【付属資料1】

2015. 3. 11 四国新聞掲載記事

仕事と家庭が両立できる職場環境づくりに取り組む企業や団体などを県が顕彰する2014年度の「ワーク・ライフ・バランス推進企業表彰」で、丸亀市の人材派遣業パワーネット（谷瀬陽子代表取締役）が知事賞に選ばれた。

谷瀬陽子代表取締役（左から2人目）ら＝県庁

ワーク・ライフ・バランス推進企業  
パワーネット（丸亀）が知事賞



知事賞を受賞したパワーネットの谷瀬陽子代表取締役（左から2人目）ら＝県庁

度から毎年表彰している。パワーネットは、13年度に県商工労働部長賞を受賞した。年に掲げ結果を出しているほか、勉強会やフォーラムなどを開き、ワーク・ライフ・バランスの取り組みを地域に広げていることなどが評価された。

知事賞の表彰式がこのほど県庁であり、谷瀬代表取締役に賞状を手渡した浜田知事は、「仕事と家庭が両立できる職場環境づくりは重要なになっている。より一層の推進に努めてほしい」と述べた。

14年度の県商工労働部長賞は、宇多津町のマーキング加工業マツオカ（松岡賢一代表取締役）が受賞した。

## 2016/2 第5回「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」を受賞

「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」は、社員や顧客、地域から必要とされ、「大切にしたい会社」と思われている企業等を発表・表彰することにより企業経営の新たな取り組みを後押しし、企業活動の活気づくり、四国地域の経済活性化に貢献することを目的として、四国地域イノベーション創出協議会の顕彰事業として平成23年度に創設されたものです。

### 【当社受賞理由】

- ◎子育て女性に特化した人材派遣・職業紹介・教育訓練事業を展開
- ◎全社員が女性、「社員とともに派遣社員が輝ける職場づくり」を目指しており、「子育て女性が安心して働く会社」として評価を得る

